

社会資本総合整備計画(第3回変更)

やぶきえきしゅうへんちくとしさいせいせいびけいかく
矢吹駅周辺地区都市再生整備計画

ふくしま やぶきまち
福島県 矢吹町

平成28年11月

種別	種別	対象	間接	事業日	(事業箇所)	(面積等)	事業日	H27	H28	H29	H30	H31	(百万円)
合計													
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考
1-D1													

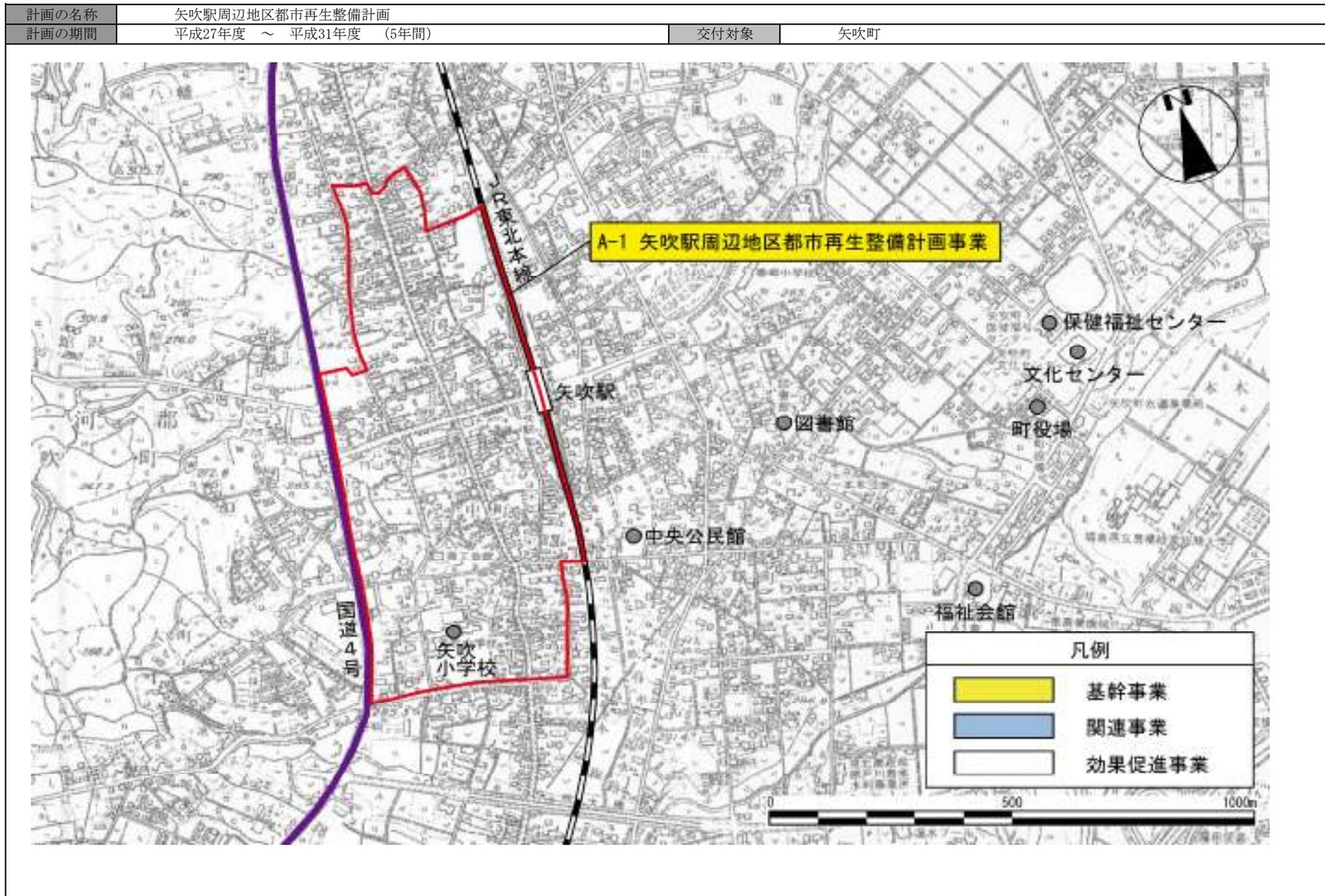
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	11.2				
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)	11.2				
前年度からの繰越額 (d)	0.0				
支払済額 (e)	0.8				
翌年度繰越額 (f)	10.4				
うち未契約繰越額 (g)	10.4				
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0				
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	92.9%				
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	<ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉の難航により不測の日数を要したため。 ・工事箇所の変更により不測の日数を要したため。 				

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



都市再生整備計画（第3回変更）

やぶきえきしゅうへん
矢吹駅周辺地区

ふくしま やぶきまち
福島県 矢吹町

平成28年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福島県	市町村名	矢吹町	地区名	矢吹駅周辺地区	面積	42 ha
計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度				

目標
大目標: 魅力と賑わいのある中心市街地としての再生 目標1: 利便性が高く魅力のある市街地の形成 目標2: 多くの人々の活動・交流による賑わいと活力の創出

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ○福島県中通りの南部に位置する矢吹町は、県南地域の拠点の役割を担っている都市である。 ○矢吹町西部に位置するJR矢吹駅周辺部は、旧奥州街道の宿場町として矢吹宿が設けられ、明治時代に駅が開業したことにより、旧矢吹町の中心市街地としてより一層発展した。 ○地区内には、大正9年造の洋館「大正ロマンの館」(平成26年町が取得)や慶応元年創業の造り酒屋など、歴史的建造物も残っている。 ○また、毎月1回のペースで開催されている「やぶき軽トラ市」では、数十台の車が並び、多くの来客がある。 ○しかし、人口減少と少子高齢化の進行、モータリゼーションの進展、近接する国道4号沿道や矢吹中央IC周辺などへの大型店舗の進出などにより、近年は賑わいや活力が低下していた。 ○旧中心市街地改正法に基づき、平成14年度に中心市街地活性化基本構想、同15年度に中心市街地活性化基本計画を策定し様々な施策に取り組んできたが、地元事業者等の協力を得ることができずまちづくりの主体となるべきTMOが設立できなかったなど、十分な成果が得られた状況ではなかった。 ○その上、平成23年の東日本大震災によって大きな被害を受け、現在は空地なども多くなっている。 ○しかし、JR矢吹駅を有する立地条件、歴史的経緯、都市基盤の整備状況等からみても、また県南地域など広域的にみても、本地区はこれからも本町の中心市街地としての役割を担っていくことが求められている。特に住民の高齢化などを踏まえると、コンパクトな歩いて暮らせるまちづくりが重要となっている。 ○震災後の平成24年、町は東京大学生産技術研究所と覚書を締結し、地域住民が主体となった活動を、行政や大学の研究機関が技術・学術・人材・資金など、さまざまな側面からサポートしていく「まちむすびプロジェクト」が開始されており、現在も大正ロマンの館の改修・利活用などの取り組みが進められている。

課題
本地区では、東日本大震災からのスピード感のある復旧・復興が望まれるが、その過程においては中心市街地として、町全体のこれからのまちづくりにも考慮して、以下のような課題に取り組んでいく必要がある。 ○利便性が高く、住みやすい市街地の形成 今後も本町の中心市街地として、また本町が進めるコンパクトなまちづくりの拠点としても機能するよう、利便性が高く住みやすい市街地を形成していく必要がある。 ○地域の特徴を活かした魅力づくり 活力や賑わいを創出する多くの人々が集まるまちに再生するため、集積している各種施設、歴史・文化資源などを活用して、地区の魅力を高めていく必要がある。 ○住民や事業者のまちづくりへの参画 まちづくりの主役である住民や事業者が主体となって、商店街の活性化やまちの賑わい創出などに取り組む必要がある。

将来ビジョン(中長期)
○町の最上位計画である第5次矢吹町まちづくり総合計画では、本地区が含まれる中心市街地は、都市計画道路や都市公園、公共下水道の整備促進など土地利用機能の集積を図ることとされている。 ○平成8年策定の矢吹町都市マスタープランにおいても本地区は中心市街地の一部に位置づけられており、県南地域の地域核にふさわしい都市機能の集積を図ることとされている。また、現在策定中の新しい都市計画マスタープランにおいても、コンパクトなまちづくりを進める中、本地区を含む矢吹駅周辺を商業・業務拠点に位置づけ、多様な都市機能の集積・充実、魅力的で快適に過ごすことができる都市空間の形成を目指すこととしている。 ○平成26年策定の県南都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(県南都市計画区域マスタープラン)において、矢吹駅周辺は県南地域生活圏の地域拠点にふさわしい商業地の形成を図ることとされている。

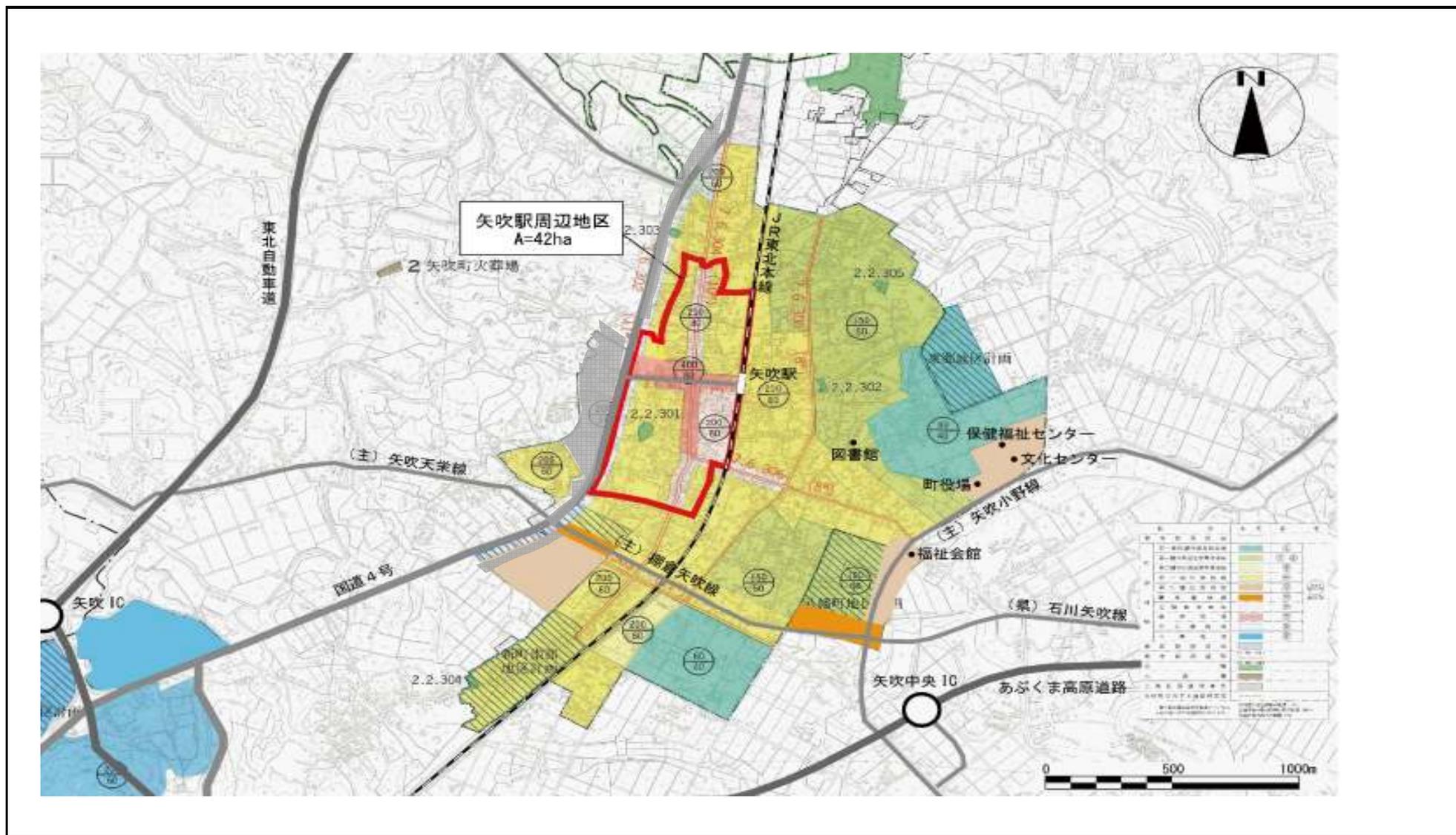
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
大正ロマンの館及びポケットパークでのイベント数	回/年	大正ロマンの館とポケットパークを活用したイベントの開催数	イベントを催す場が無かった駅周辺に屋根の付いたステージを含むポケットパークを整備し、また歴史資源である大正ロマンの館を改修し、寒冷期間を除き、月1回のイベント開催を目指す。	0	H26	10	H31
平日歩行者通行量	人/日	計画エリア内の平日1日の歩行者通行量	歩行者通行量の増加は、より多くの人々が本地区を訪れたことを表すものである。各種施設整備などにより30%の増加を目指す。	216	H26	265	H31
空き店舗等の数	件・箇所	計画エリア内の空き店舗、空き地、空き施設(住宅以外)の数	空き店舗や空き地などの減は、本地区の機能充実を表し、にぎわい創出などが期待できる。各種施設の整備などを進め、空き店舗や空き地などの減少を目指す。	58	H26	55	H31

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>■多様な都市機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の憩い・交流の場などとなる地域交流センター・子育て支援センターと防災機能を有する矢吹公園を整備する。 ・これらの整備と、地区内の多様な既存施設、他事業により整備される屋内外運動場などの施設、町道一本木29号線(石川道)の拡幅による町役場などが集積する地区などとの連携強化などをあわせて、多様な都市機能の充実を図る。 	<p>■矢吹公園整備事業(基幹事業/公園)</p> <p>■耐震性貯水槽等整備事業(基幹事業/地域生活基盤施設)</p> <p>■交流広場整備事業(基幹事業/地域生活基盤施設)</p> <p>■地域交流センター整備事業(基幹事業/高次都市施設)</p> <p>■子育て支援センター整備事業(基幹事業/高次都市施設)</p> <p>■図書館整備事業(提案事業/地域創造支援事業)</p> <p>■観光交流センター整備事業(基幹事業/高次都市施設)</p> <p>■本町7号線整備事業(基幹事業/道路)</p> <p>■本町8号線整備事業(基幹事業/道路)</p> <p>■駐車場整備事業(基幹事業/地域生活基盤)</p> <p>○災害復興公営住宅整備事業(関連事業)</p> <p>○町道一本木29号線(石川道)拡幅事業(関連事業)</p> <p>○一区自治会館整備事業(関連事業)</p> <p>○屋内外運動場整備事業(関連事業)</p>
<p>■地域資源を活用した地区の魅力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な歴史資源である矢吹神社境内と一体となった矢吹公園を整備し、同じく歴史資源である大正ロマンの館を改築し、交流の場などとして活用する。 ・近接して整備される屋台村とともに、地区の魅力向上につなげる。 	<p>■矢吹公園整備事業(基幹事業/公園)</p> <p>○空き家再生等推進事業(大正ロマンの館改修)(関連事業)</p> <p>○屋台村整備事業(関連事業)</p>
<p>■住民・事業者との協働によるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働の取り組みの前提ともなる地区のまちづくりに関する基本的な考え方となる計画を策定する。 ・地区の住民や事業者のまちづくり活動を支援する。 ・活力ある商店街支援事業による店主への支援などとともに、住民や事業者が主体となったまちづくりの推進を図る。 	<p>□矢吹駅周辺地区景観計画等策定事業(提案事業/事業活用調査)</p> <p>□事業効果分析(提案事業/事業活用調査)</p> <p>□まちづくり活動支援事業(提案事業/まちづくり活動推進事業)</p> <p>○活力ある商店街支援事業(関連事業)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり意識の高まり ・東日本大震災からの復旧・復興に際して、東京大学生産技術研究所と地区住民によるまちづくりに関する会議が持たれ、ワークショップなどにも取り組んでおり、住民たちのまちづくりに対する意識が高まってきている。 	

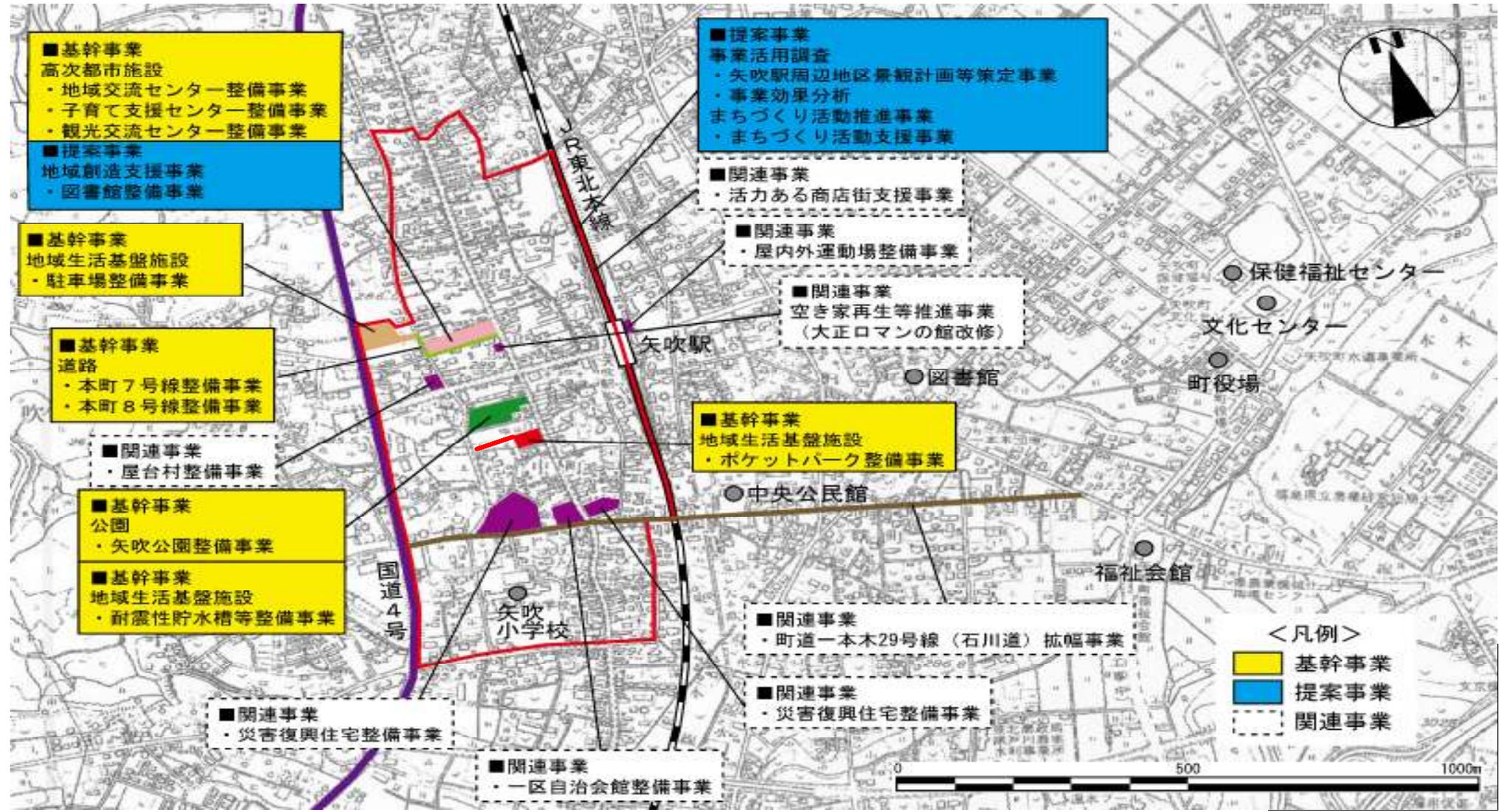
都市再生整備計画の区域

矢吹駅周辺地区(福島県矢吹町)	面積	42 ha	区域	北町、本町、中町の一部
-----------------	----	-------	----	-------------



矢吹駅周辺地区(福島県矢吹町) 整備方針概要図

目標	大目標: 魅力と賑わいのある中心市街地としての再生	代表的な指標	大正ロマンの館及びポケットパークでのイベント数 (回/年)	0	(H27年度)	→	10	(H31年度)
	目標1: 利便性が高く魅力のある市街地の形成		平日歩行者通行量 (人/日)	216	(H27年度)	→	265	(H31年度)
	目標2: 多くの人々の活動・交流による賑わいと活力の創出		空き店舗等の数 (件・箇所)	58	(H27年度)	→	55	(H31年度)

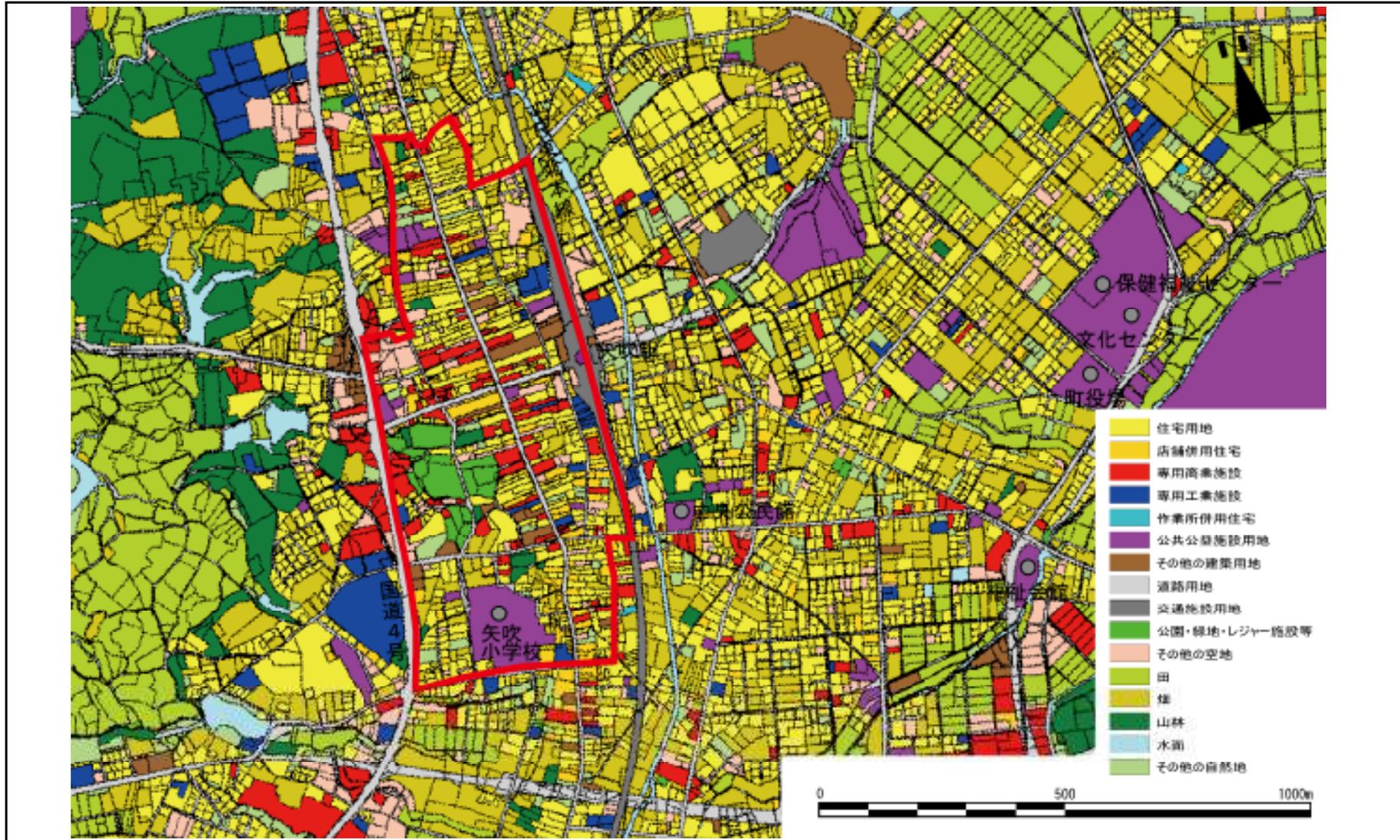


都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

やぶき えき しゅうへん
矢吹駅周辺地区 ふくしまけん やぶきまち（福島県矢吹町）

矢吹駅周辺地区(福島県矢吹町) 現況図



交付限度額算定表(その1)

矢吹駅周辺地区 (福島県矢吹町)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による交付限度額(X)	742.2 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	36,255.0 百万円	X≦Yゆえ、本計画における交付限度額	742.2 百万円
-------------------------------	-----------	-----------------------	--------------	--------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

公共施設の上限整備水準	168,000
-------------	---------

区域面積(m ²)	420,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	
○ 区域の面積が10ha未満の地区	0.50
○ 最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
○ その他の地域	0.40

単位面積あたりの標準的な用地費	554,324
-----------------	---------

標準地点数	1
公示価格の平均値(円/m ²)	28,900
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.003
標準補償費(円/戸)	44,000,000

	23,000
--	--------

	0
--	---

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設		
施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

要綱第5に掲げる式による限度額算定

<社会資本整備総合交付金>

交付対象事業費	基幹事業(A)	1,336 百万円
	提案事業(B)	740 百万円
	合計	2,076 百万円

公共施設の現況整備水準	42400
-------------	-------

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	40,100	0.1
公園	2,300	0.01
広場	-	-
緑地	-	-
公共施設合計	42,400	0.1

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	36255 百万円
----------------------	-----------

	0
--	---

下水道	0 円
区域面積(m ²)	420,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
---------------------	-----

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	408,900

調整池	0 円
-----	-----

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
----	-----

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層		
	一般		
	合計	0	
標準整備費(円/戸)	超高層	一般	
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等	0 円
--------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
------	-----

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	36255 百万円
---------------------	-----------

[1]式	$\alpha = 4(A+B)/5 =$	1,661
[2]式	$\alpha = 2=10A/9 =$	1,484
	交付限度額(X)	742.2 百万円

- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

矢吹駅周辺地区 (福島県矢吹町)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	1,336.100	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	830.400	①(国費)
	提案事業合計(B)	739.900	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	742.278	②(国費)
	合計(A+B)	2,076.000	(事業費)	上記①、②の小さい方	742.278	③(国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.357		国費率(③÷(A+B))	0.358	④(国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	③)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤(国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		③)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	742.278	⑥(国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		③)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.358	⑦(国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	⇒	③)をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	742.278	⑧(国費)
	補正予算の執行額		(国費)		執行額を足した額	742.278	⑨(国費)
					補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	742.278	⑩(国費)
					補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.358	⑪(国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	⇒	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.358	⑫(国費率)	
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)		⇒	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬(国費)
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)		⇒	適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭(国費率)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		⇒	4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮(国費)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)					

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓
拡充も考慮した交付限度額 742.278 ⑯(国費)

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	2,076.0	(事業費)	⇒	交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	742.2	⑰(国費)
				国費率	0.358	⑱(国費率)

※平成20年補正予算地区及び経過措置適用地区については、各計算用シートで算出された交付限度額と一致していることを確認して下さい。

様式8 年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業	細項目								
道路		本町7号線	町	31		4	27		
		本町8号線	町	19		2	17		
公園		矢吹公園	町	242			75	100	67
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設		耐震性貯水槽・防災倉庫・ポケットパーク・駐車場	町	174	5	98	58		13
高質空間形成施設									
高次都市施設		地域交流センター・子育て支援センター・観光交流センター	町	870	9	82	779		
中心拠点誘導施設									
連携生活拠点誘導施設									
生活拠点誘導施設									
高齢者交流拠点誘導施設									
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
	拠点開発型								
	住宅市街地								
	総合整備	沿道等整備型							
	事業	密集住宅市街地整備型							
		耐震改修促進型							
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				1,336	14	186	956	100	80
提案事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業	細項目								
地域創造 支援事業	図書館整備事業	本町地区	町	728		8	68	652	
事業活用 調査	矢吹駅周辺地区景観計画等策定事業	計画区域全域	町	8	8				
	事業効果分析	計画区域全域	町	2					2
まちづくり活動 推進事業	まちづくり活動支援事業	計画区域全域	町	2	2				
計				740	10	8	68	652	2
合計				2,076	24.3	193.6	1024.4	751.7	82
累計進捗率 (%)					1.2%	10.5%	59.8%	96.1%	100.0%
(参考)都市機能立地支援関連事業									
事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
合計			0	0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

<<参考>>年次計画

※本シートを都市再生整備計画につける必要はない

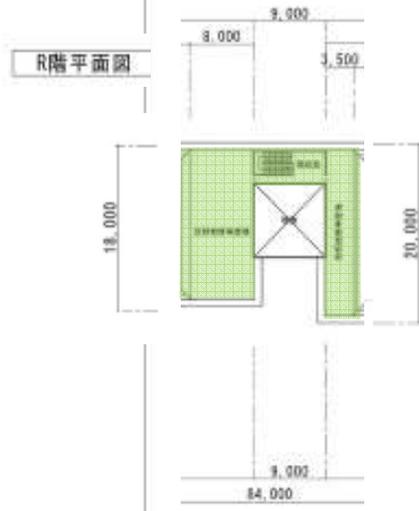
【記入要領】

- ・灰色のセルは関数により自動計算される部分を表しており、灰色のセルには手を加えないこと。
- ・基幹事業、提案事業それぞれの年次計画を事業別に記入すること。
- ・「交付対象事業費」については、交付対象事業等に関する事項における「交付対象事業費」と同額になる。
- ・累計進捗率の欄は、各年度末までの累計進捗率を%で小数第1位まで記入すること(小数第2位以下切り捨て)。累積の進捗率であり、単年度の進捗率ではないことに注意。この累積進捗率は毎年増加していき、最終年度には100%となる。
- ・同一事業で複数の事業箇所がある場合(地区内に道路事業が複数路線ある場合等)は、適宜行を追加すること(2枚にまたがっても構わない)。ただし、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、高次都市施設については、それぞれ1行にまとめること。

- 地域創造支援事業
- 図書館整備事業

整備イメージ

多目的交流施設内に、図書館を整備する。既存の図書館は中心市街地郊外に位置しており、利用者が少ない状況である。上記のような役割が期待される地域交流センター内での整備は、利便性が高く、多くの利用も見込まれるため、より高い効果を得ることができると想定される。

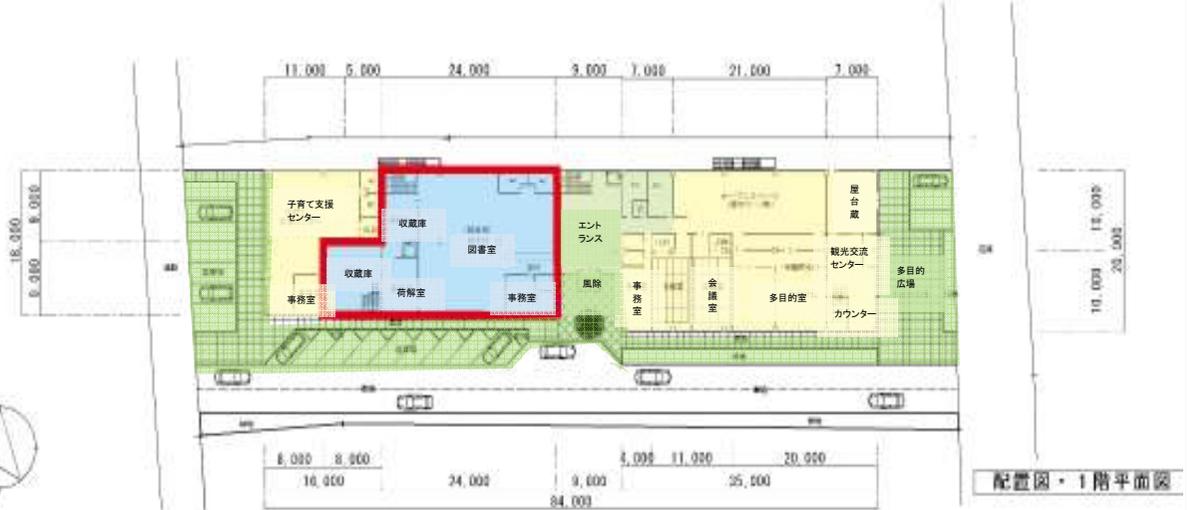


■ 基幹事業部分
■ 提案事業部分
■ 共有部分

延床面積

事業種別	施設名称	階層	面積		割合		
			延床面積	共有按分			
基幹事業 (高次都市施設)	地域交流センター部分	1階部分	456.0㎡	41.20%	2136.1㎡		
		2階部分	651.0㎡				
		共有部分	1029.1㎡				
	子育て支援センター部分	共有部分	216.0㎡	8.04%	416.8㎡		
		共有部分	140.0㎡	5.21%	270.2㎡		
	提案事業 (地域創造支援事業)	図書館部分	1階部分	504.0㎡	45.55%	2361.9㎡	
2階部分			720.0㎡				
共有部分			1137.9㎡				
合計			2687.0㎡	100%	2498.0㎡	5185.0㎡	100%

共有部分 (ホール・トイレ・施設駐車場)	
1階部分	227.0㎡
2階部分	112.0㎡
3階部分	36.0㎡
施設駐車場	2123.0㎡
合計	2498.0㎡



	全体	基幹事業 高次都市施設			提案事業 地域創造支援事業	
		地域交流センター	子育て支援センター	観光交流センター	図書館	
延床面積(按分後)	5,185.0㎡	2,136.1㎡	416.8㎡	270.2㎡	2,361.9㎡	
割合	100.00%	41.20%	8.04%	5.21%	45.55%	
事業費	調査・設計費	64.0百万円	26.4百万円	5.1百万円	3.3百万円	29.2百万円
	用地・補償費	103.2百万円	42.5百万円	8.3百万円	5.4百万円	47.0百万円
	施設整備費	1430.6百万円	589.4百万円	115.0百万円	74.5百万円	651.7百万円
	合計	1597.8百万円	658.3百万円	128.4百万円	83.2百万円	727.9百万円

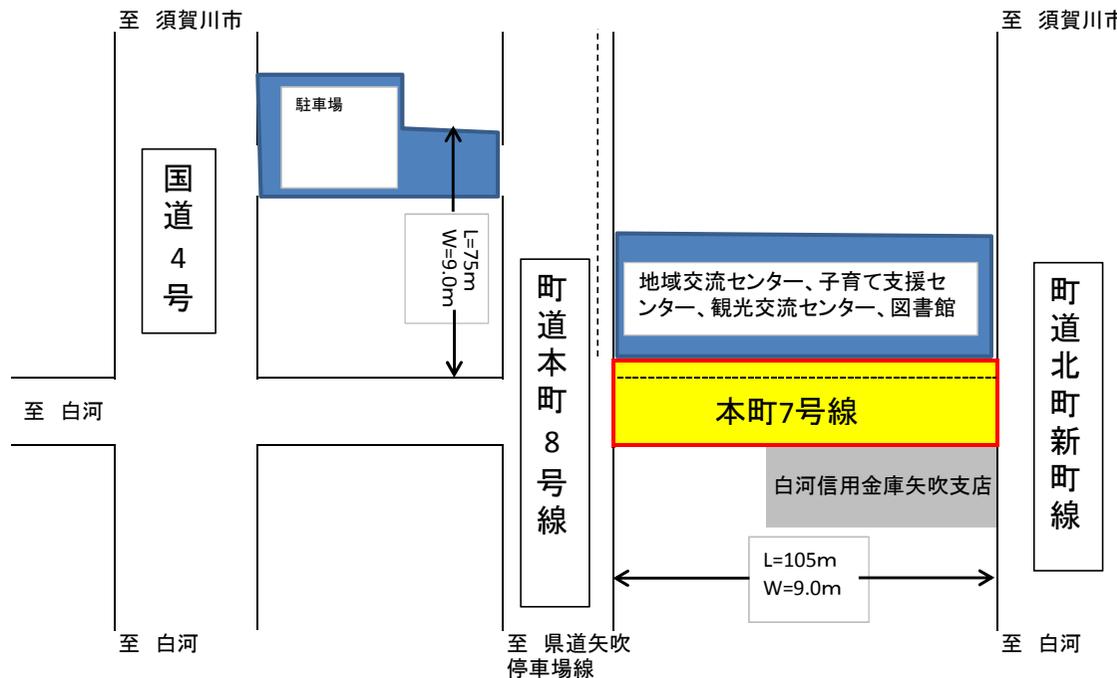
■道路

○本町7号線整備事業

整備イメージ

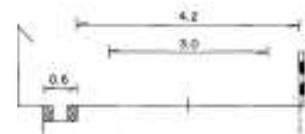
多目的交流施設の南に接する本町7号線は国道4号～町道北町新町線(旧国道4号)を結び、交流施設駐車場から白河及び郡山方面へ向かうアクセス道路として利用される。しかし、現道幅員がW=4.2mで歩道のない道路であり、交流施設の整備によって多くの歩行者の通行が見込まれるため、住民が安全に施設を利用できるよう、道路を拡幅し歩道を整備する。

整備延長L=105m 幅員W=5.5(9.0)m

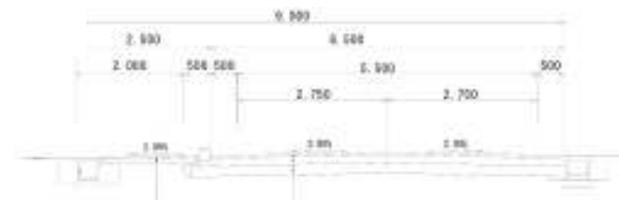


事業費	調査・設計費	3.7百万円
	施設整備費	27.2百万円
	合計	30.9百万円

現況横断面図



計画横断面図



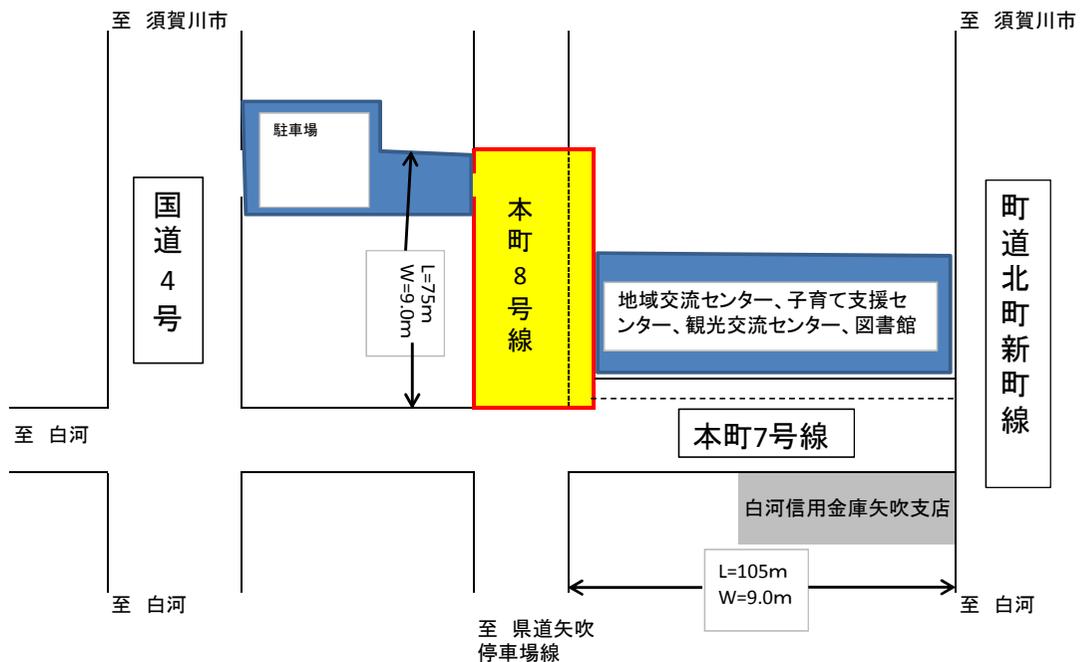
■道路

○本町8号線整備事業

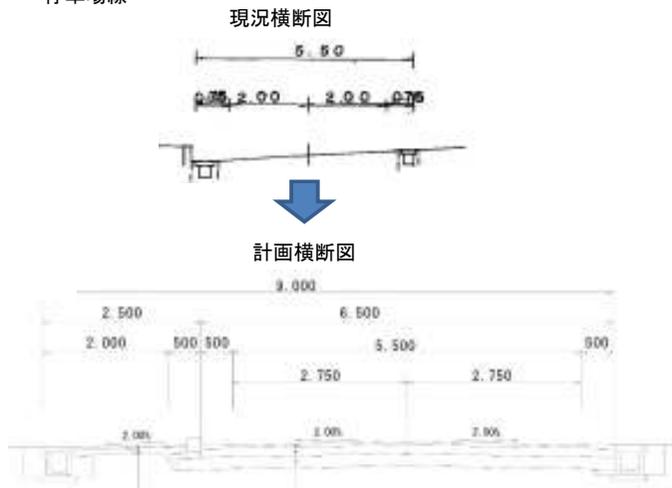
多目的交流施設の西側に接する本町8号線は町立矢吹小学校、町立矢吹中学校の通学路として利用されているが、現道幅員W=5.5mであり、そのうち歩道部分がW=1.0mと狭い。交流施設整備に伴い、道路向かい側に整備する交流施設専用駐車場を結ぶ施設利用者のアクセス道路となることから、増大する歩行者の安全確保のため車道及び歩道の拡幅を行う。

整備延長L=75m 幅員W=5.5(9.0)m

整備イメージ



事業費	調査・設計費	2.3百万円
	施設整備費	16.8百万円
	合計	19.1百万円



公園(都市公園補助事業採択要件外)

公園等名(*1)	種別等(*2)	事業主体(*3)	概要(面積(m ²)等) (*4)	交付期間内 事業費(百万円)	交付期間内事業費内訳			備考(*5)
					設計費 (百万円)	用地費 (百万円)	施設整備費 (百万円)	
矢吹公園	近隣公園	町	4,100m ²	242	25	150	67	園路、植栽等
								買収4,100m ² *29千円＝ 119,000千円
								用地費＝買収費+補償 費
合計	—	—	—	242	25	150	67	—

*1 公園等名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。

*2 「種別等」欄には、都市公園の種別である「街区公園」、「近隣公園」、「地区公園」、「特定地区公園」、「総合公園」、「運動公園」、「動植物公園」、「歴史公園」、「広域公園」、「レクリエーション都市」、「風致公園」、「墓園」、「緩衝緑地」、「都市緑地」、「緑道」のいずれかを記入。

都市公園でない場合は「無」を記入し、「概要(面積等)」欄に制度上の位置付け(条例設置公園等)を簡潔に記載。

*3 「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

*4 「概要(面積(m²)等)」欄には、都市公園でない場合に公園としての制度上の位置づけを記入する他、計画面積(単位: m²)等を記入すること。

*5 「備考」欄には整備する主な施設(園路、植栽、あずまや、体験学習施設等)を簡潔に記載。

*6 青色で着色してあるセルは自動計算されるので入力しないこと。

■公園

○矢吹公園整備事業

本地区のほぼ中央にある矢吹神社の参道部分を公園として整備する。

貴重な緑を保全するとともに、本地区の魅力となる矢吹神社をはじめとした歴史を感じることができ、災害時には町民の避難場所等としても機能するよう配慮して整備する。

整備イメージ

矢吹公園整備事業
(公園)



地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費 うち購入費		
緑地									
広場	ポケットパーク	町	2,580㎡	148	10	51.3	86.7	—	
駐車場	駐車場	町	1,758㎡	13.2		13.1	0.1		全体事業費:52.9 (駐車台数:57台)
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地									
情報板									
地域防災施設	施設種別:耐震性 貯水槽・防災倉庫	町	耐震性貯水槽40m3 防災倉庫30m2	13	—	—	13	—	竣工予定年次 H29→H31に変更
人工地盤									
合計	—	—	—	174.2	10	64.4	99.8		

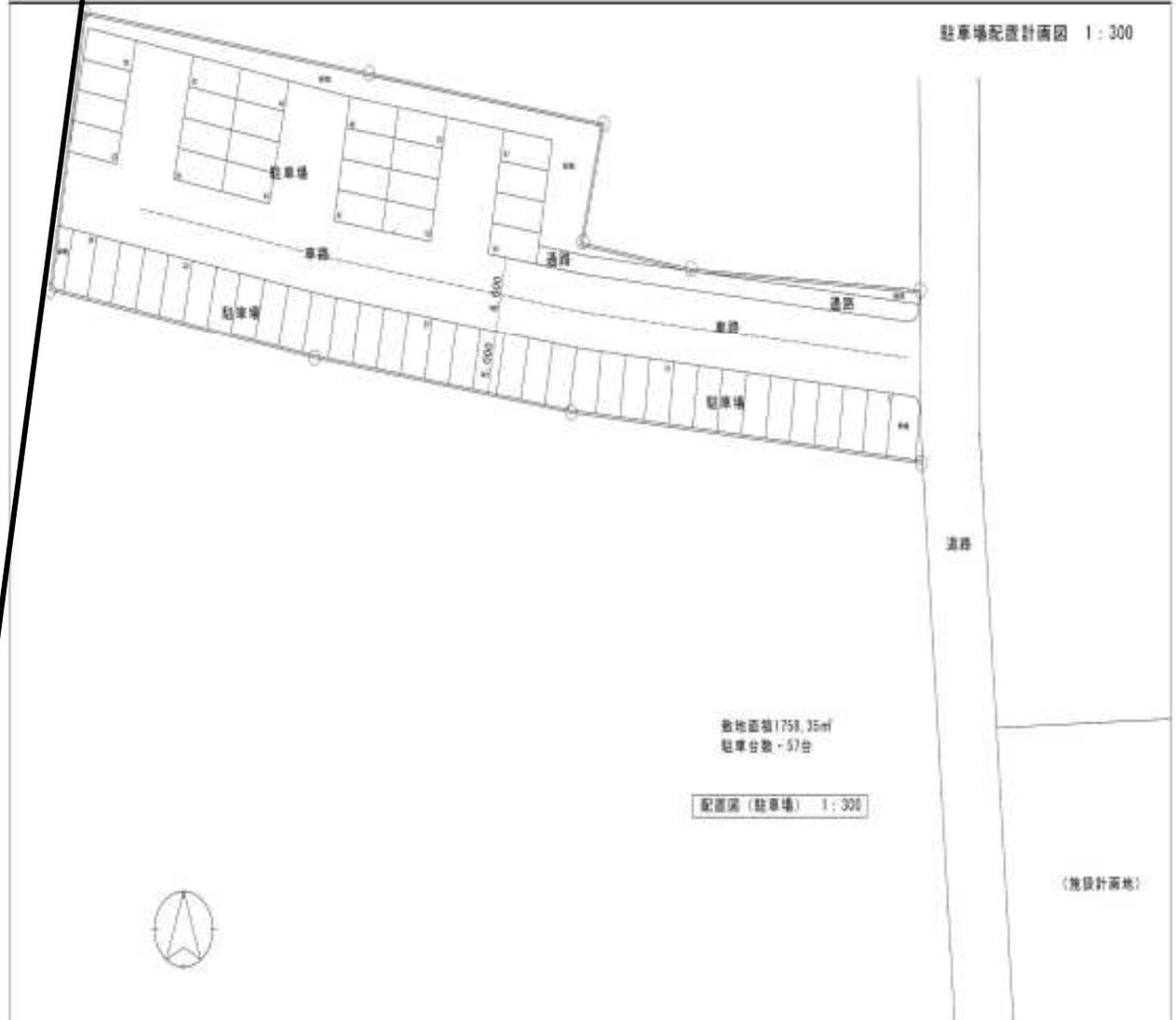
- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

地域生活基盤施設
 ■ 駐車場

多目的交流施設の整備に合わせ、施設の西側に駐車場を整備する。施設の利用者のみならず、一般にも開放し、利便性を向上させ、市街地の活性化を図る。

国道4号線

駐車場			
事業費		全体事業費	交付対象事業費
	用地・補償費	52.5百万円	13.1百万円
	施設整備費	0.4百万円	0.1百万円
	合計	52.9百万円	13.2百万円



■地域生活基盤施設

○耐震性貯水槽等整備事業

東日本大震災で大きな被害を受けた本地区の防災性を向上するため、本地区のほぼ中央に本計画に基づき整備する矢吹公園内に耐震性貯水槽と防災倉庫を整備する。

矢吹公園内に整備することで、避難場所等としての活用が想定される同公園で迅速に被災者対応にあたることが可能となる。

整備イメージ

耐震性貯水槽等整備事業
(地域生活基盤施設)



■地域生活基盤施設

○ポケットパーク整備事業

東邦銀行跡地は、本地区のメイン道路となる旧奥州街道の沿道、多くの商店等が立地する商店街のほぼ中央に位置しており、かつては町役場が立地していた場所でもある。東日本大震災からの復旧・復興が大きな課題となっている本地区において、好立地条件にある当跡地をまちづくりに活用していく意義は大きい。また、復旧・復興を広くアピールしていく上で、当跡地を未利用地のままとしておくのは、イメージ的にもよくない。

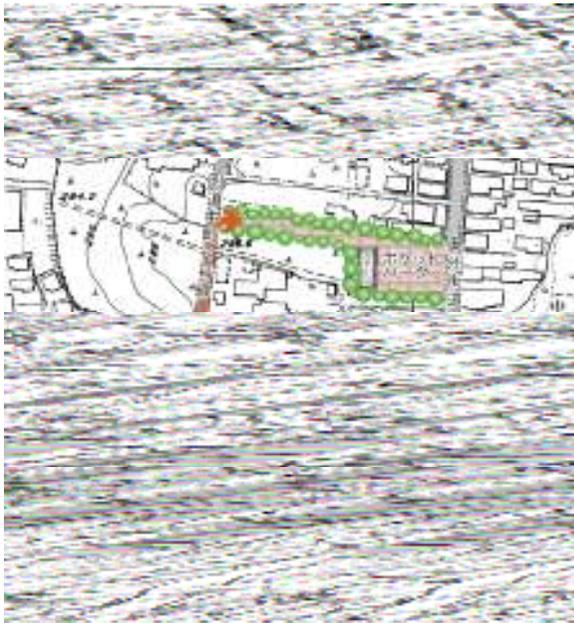
土質調査の結果を踏まえ、大規模工作物等の整備を要さないポケットパークとして整備する。

本跡地は商店街の中央に位置し、周辺で災害復興住宅が整備されることから、平時は増加が予想される商店街の買い物客や地域住民などの休憩・憩いの場としての利用が考えられる。また、休日などにはイベントの場としての利用が考えられる。本地区、特に駅周辺にはイベントの場として適したスペースは確保できていない。イベントの場としては、当敷地の北に計画している矢吹公園の活用も考えられるが、当公園は、旧奥州街道から西に長く、かつ矢吹神社前にあたる西奥が広い敷地形状となっており、周辺には住宅も多いため、矢吹神社と連動し本町・本地区の歴史・文化を物語る場としての“静”的な利用を想定しており、芝生広場などがメインとなる。

これに対して、当敷地は、敷地形状立地条件から旧奥州街道沿道の商店街と連動した活用も容易である。また、東側が全面旧奥州街道に面しているため車の乗り入れにも配慮することで、現在も街道沿いに開催されている軽トラ市、フリーマーケットなどの会場としての利用も可能であり、また、雨天時にも対応出来る屋根の付いたステージ等を整備することで多くの人々が集まる“動”的イベントでの活用にも適している。

また、西側の町道へ通り抜けができるようにすることで、近隣にある町営駐車場とのアクセスがよくなるため、開催が想定される、夏祭りや太鼓イベント等のイベントの際に参加者の利便性が向上する。

・整備内容 インターロッキング舗装 東屋の設置 低木の植栽



高次都市施設

■地域交流センター、観光交流センター、まちおこしセンター、子育て世代活動支援センター、複合交通センター

(単位:百万円)

施設名	事業主体	概要 (床面積、規模等)	交付期間内事業期間		交付期間内事業費				備考 (施設の内容等)
			開始年度	完了年度	うち設計費	うち用地費	うち整備費	うち購入費	
地域交流センター	町	A=2,136.1㎡	H27	H31	658.3	26.4	42.5	589.4	コミュニティスペース、公民館機能など
子育て支援センター	町	A=416.8㎡	H27	H31	128.4	5.1	8.3	115	子育てに関する相談、対応、一時預かり機能有
観光交流センター	町	A=270.2㎡	H28	H31	83.2	3.3	5.4	74.5	屋台蔵、物産品の紹介・販売

■ 高次都市施設

○ 地域交流センター整備事業

整備イメージ

概要

石川道沿いにある中央公民館(昭和47年建設)の老朽化が激しく、また、町役場からも奥州街道沿いの中心市街からも離れているため、他施設との連携にも難があります。この点を考慮して、地域交流センターと子育て支援センターを中心市街の「マグネット施設」として整備し、「歩いて楽しい矢吹のまち」を実現しつつ、中心市街における「まちなか居住」の促進を図ります。また、施設整備にあたってはバリアフリー化に最大限の配慮を行い、今後の高齢化社会への対応を行います。

平面計画

交流センターのシンボルとなる大ホールを木造大架構にて実現し、奥州街道からダイレクトに入ることのできるエントランスを設けます。大ホールと事務室の間にはテラスを設け、演者の待機場所、ちょっとしたレセプションパーティなどがおこなえるようにします。ギャラリー及び展示室エントランスは周囲の伝統的な町割りを考慮し、敷地の奥深くまで分け入っていくような印象的なエントランスホールとします。エントランスホールはガラス屋根を持つ吹抜けとして、2階の展示室との一体感が得られるよう計画します。展示室は安定した光がえられる「北側採光」を行うため、建物の北側に配置します。子育て支援センターは建物の最深部に配置して、展示室群・大ホールの動線と分けたエントランスを設けます。これにより、2つの機能を持つ建物の運用の便宜を図ります。事務室は交流センター機能と子育て支援センターの中間に配置し、それぞれの運営に機能的に対応できるようにします。勝手口をテラスに設け、機能性の向上を図ります。



事業種別	区分	面積		共有按分	合計
		延床面積	延床面積		
基幹事業 (高次都市施設)	地域交流センター部分	1階部分	456.0㎡	41.20%	2136.1㎡
		2階部分	651.0㎡		
		共有部分	1029.1㎡		
	子育て支援センター部分	共有部分	216.0㎡	8.04%	416.8㎡
		共有部分	140.0㎡	5.21%	270.2㎡
提案事業 (地域創造支援事業)	図書館部分	1階部分	504.0㎡	45.55%	2361.9㎡
		2階部分	720.0㎡		
		共有部分	130.2㎡		
合計		2687.0㎡	100%	2498.0㎡	5185.0㎡

共有部分 (ホール・トイレ・施設駐車場)	
1階部分	227.0㎡
2階部分	112.0㎡
3階部分	36.0㎡
施設駐車場	2123.0㎡
合計	2498.0㎡

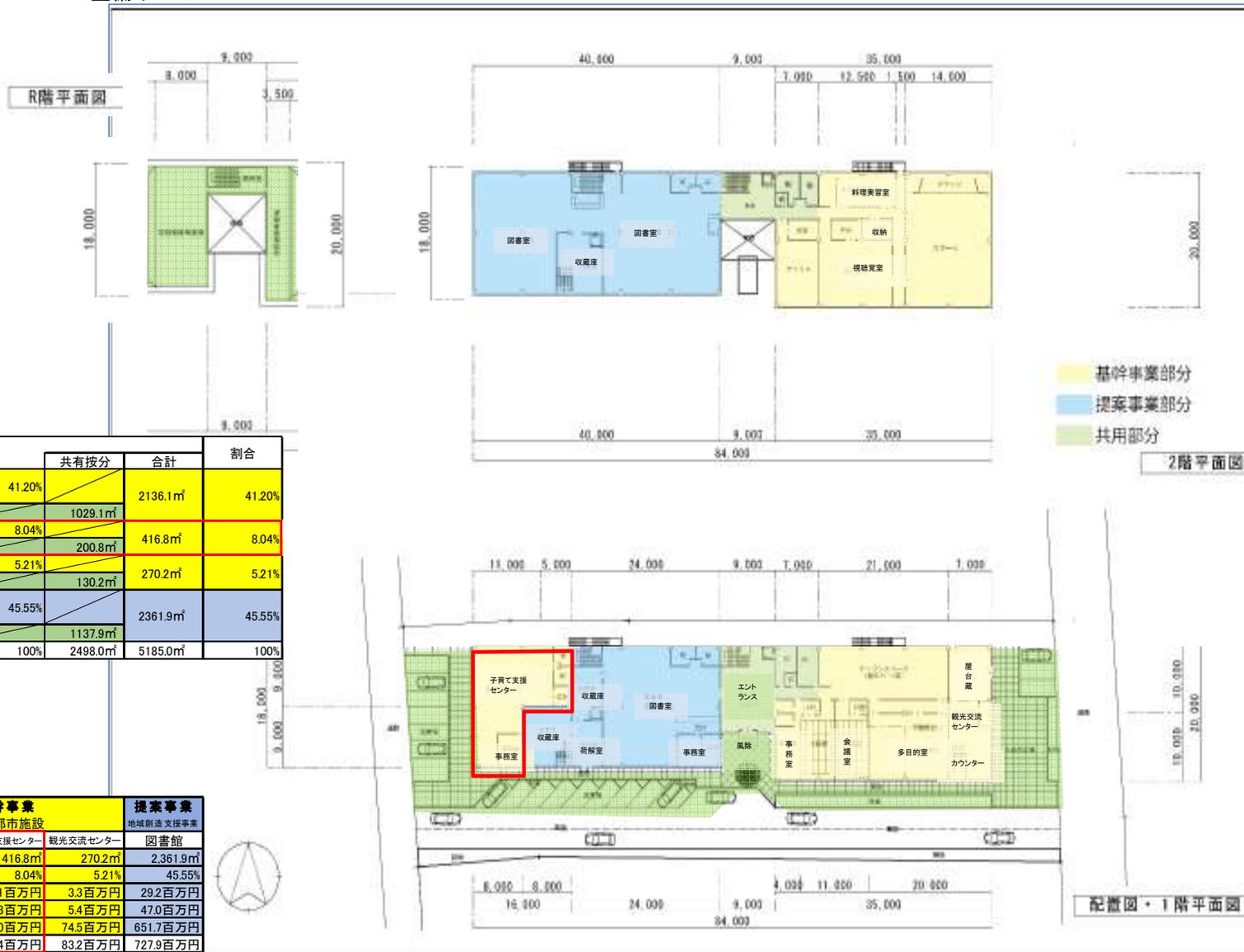
項目	全体	基幹事業 高次都市施設			提案事業 地域創造支援事業
		地域交流センター	子育て支援センター	観光交流センター	図書館
延床面積(按分後)	5,185.0㎡	2,136.1㎡	416.8㎡	270.2㎡	2,361.9㎡
割合	100.00%	41.20%	8.04%	5.21%	45.55%
事業費	調査・設計費	64.0百万円	26.4百万円	5.1百万円	3.3百万円
	用地・補償費	103.2百万円	42.5百万円	8.3百万円	5.4百万円
	施設整備費	1430.6百万円	589.4百万円	115.0百万円	74.5百万円
	合計	1597.8百万円	658.3百万円	128.4百万円	83.2百万円

■高次都市施設

○子育て支援センター整備事業

多目的交流施設内に、一時預かり機能を有した子育て支援センターを整備する。人口減少が続く少子化への対応が急務となっている本町において子育て支援センターの整備は重要である。また、上記のような役割が期待される地域交流センター内での整備は、利便性が高く、多くの利用も見込まれるため、より高い効果を得ることができると想定される。

整備イメージ



延床面積

事業種別	区分	階層	面積		共有接分	合計	割合
			延床面積	割合			
基幹事業 (高次都市施設)	地域交流センター部分	1階部分	456.0㎡	41.20%	1029.1㎡	2136.1㎡	41.20%
		2階部分	651.0㎡				
		共有部分					
	子育て支援センター部分		216.0㎡	8.04%	200.8㎡	416.8㎡	8.04%
		共有部分					
観光交流センター部分		140.0㎡	5.21%	130.2㎡	270.2㎡	5.21%	
	共有部分						
提案事業 (地域創造支援事業)	図書館部分	1階部分	504.0㎡	45.55%	1137.9㎡	2361.9㎡	45.55%
		2階部分	720.0㎡				
		共有部分					
合計			2687.0㎡	100%	2498.0㎡	5185.0㎡	100%

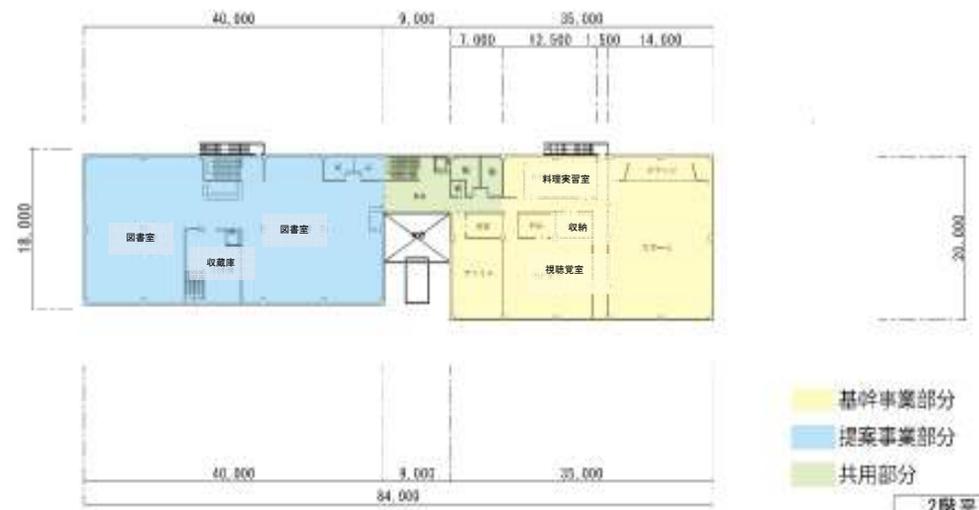
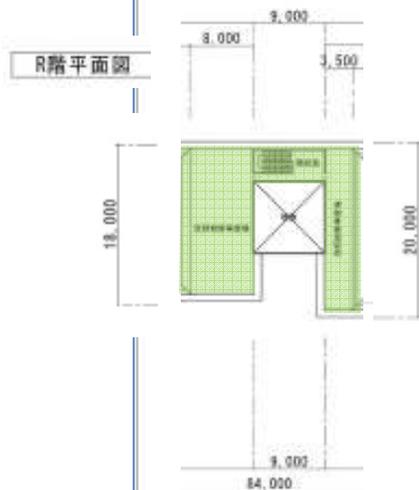
共有部分 (ホール・トイレ・施設駐車場)	1階部分	227.0㎡
	2階部分	112.0㎡
	3階部分	36.0㎡
	施設駐車場	2123.0㎡
合計		2498.0㎡

	全体	基幹事業 高次都市施設			提案事業 地域創造支援事業	
		地域交流センター	子育て支援センター	観光交流センター	図書館	
延床面積(按分後)	5,185.0㎡	2,136.1㎡	416.8㎡	270.2㎡	2,361.9㎡	
割合	100.00%	41.20%	8.04%	5.21%	45.55%	
事業費	調査・設計費	64.0百万円	26.4百万円	5.1百万円	3.3百万円	29.2百万円
	用地・補償費	103.2百万円	42.5百万円	8.3百万円	5.4百万円	47.0百万円
	施設整備費	1430.6百万円	589.4百万円	115.0百万円	74.5百万円	651.7百万円
	合計	1597.8百万円	658.3百万円	128.4百万円	83.2百万円	727.9百万円

■ 高次都市施設
○ 観光交流センター整備事業

多目的交流施設内に、屋台蔵や物産品の紹介・販売を行う観光交流センターを整備する。上記のような役割が期待される地域交流センター内での整備は、利便性が高く、多くの利用も見込まれるため、より高い効果を得ることができると想定される。

整備イメージ



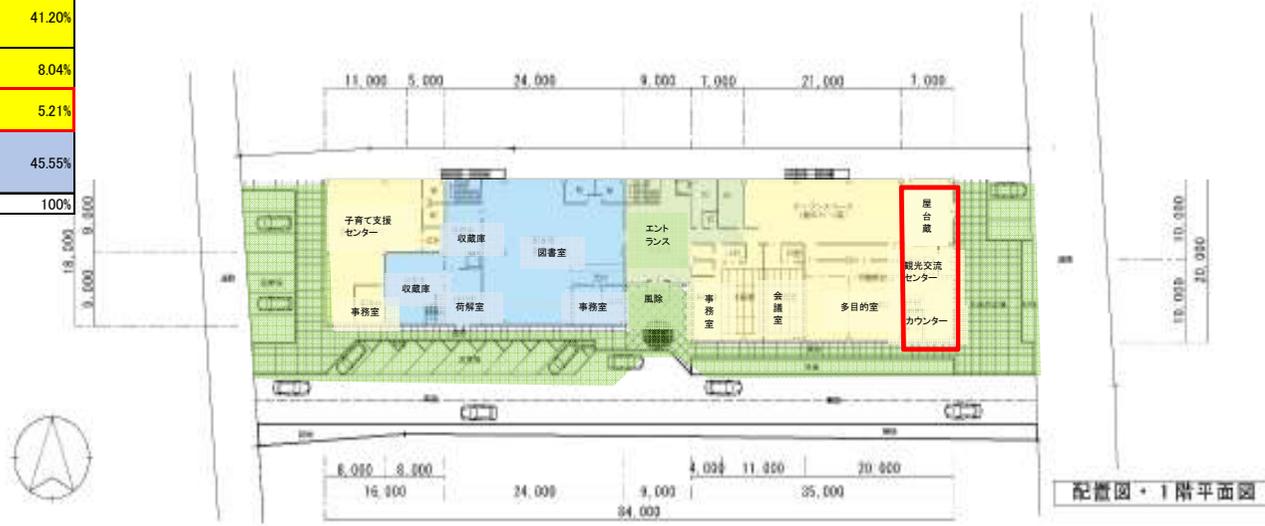
■ 基幹事業部分
■ 提案事業部分
■ 共有部分

2階平面図

延床面積		面積		共有按分	合計	割合	
基幹事業 (高次都市施設)	提案事業 (地域創造支援事業)	1階部分	2階部分				
■	○	地域交流センター部分	456.0㎡	41.20%	2136.1㎡	41.20%	
		子育て支援センター部分	216.0㎡				
		観光交流センター部分	140.0㎡				
		共有部分	1029.1㎡				
		共有部分	200.8㎡		416.8㎡	8.04%	
		共有部分	130.2㎡		270.2㎡	5.21%	
		図書館部分	504.0㎡	45.55%	2361.9㎡	45.55%	
		共有部分	720.0㎡				
		共有部分	1137.9㎡				
合計			2687.0㎡	100%	2498.0㎡	5185.0㎡	100%

共有部分 (ホール・トイレ・施設駐車場)	
1階部分	227.0㎡
2階部分	112.0㎡
3階部分	36.0㎡
施設駐車場	2123.0㎡
合計	2498.0㎡

	全体	基幹事業 高次都市施設			提案事業 地域創造支援事業	
		地域交流センター	子育て支援センター	観光交流センター	図書館	
延床面積(按分後)	5,185.0㎡	2,136.1㎡	416.8㎡	270.2㎡	2,361.9㎡	
割合	100.00%	41.20%	8.04%	5.21%	45.55%	
事業費	調査・設計費	64.0百万円	26.4百万円	5.1百万円	3.3百万円	29.2百万円
	用地・補償費	103.2百万円	42.5百万円	8.3百万円	5.4百万円	47.0百万円
	施設整備費	1430.6百万円	589.4百万円	115.0百万円	74.5百万円	651.7百万円
	合計	1597.8百万円	658.3百万円	128.4百万円	83.2百万円	727.9百万円



配置図・1階平面図